【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成17年10月20日(2005.10.20)

【公開番号】特開2000-14910(P2000-14910A)
【公開日】平成12年1月18日(2000.1.18)
【出願番号】特願平10-185071
【国際特許分類第７版】
　Ａ６３Ｆ　7/02
【ＦＩ】
　Ａ６３Ｆ　7/02　３３４
　Ａ６３Ｆ　7/02　３２０

【手続補正書】
【提出日】平成17年6月29日(2005.6.29)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　遊技盤を流下する遊技球が入球可能な始動口と、
　前記始動口への遊技球の入球を検出する第１の契機検出手段と、
　前記第１の契機検出手段により前記始動口への遊技球の入球が検出された後、当該遊技球の入球を検出する第２の契機検出手段と、
　乱数カウンタの値を定期的に更新する更新手段と、
　前記第１及び第２の契機検出手段のうち少なくとも一方の検出結果に基づき、前記乱数カウンタの値を読出す読出手段と、
　前記第１の契機検出手段による第１の契機の検出タイミングと、前記第２の契機検出手段による第２の契機の検出タイミングとの間に時間差があるか否かを判定する時間差判定手段と、
　前記読出手段により読出された前記乱数カウンタの値が、予め定められた所定値の１つと一致するか否かを判定するカウンタ判定手段と、
　前記時間差判定手段により、前記第１の契機検出手段による第１の契機の検出タイミングと、前記第２の契機検出手段による第２の契機の検出タイミングとの間に時間差があると判定された場合であって、かつ、前記カウンタ判定手段によって、前記読出手段により読出された前記乱数カウンタの値が、予め定められた所定値の１つと一致すると判定された場合に、遊技者にとって有利となる特別遊技状態を発生させる旨の信号を出力する特別遊技状態発生制御手段とを備えることを特徴とする遊技機。
【請求項２】
　遊技盤を流下する遊技球が入球可能な始動口と、
　前記始動口への遊技球の入球を検出する第１の契機検出手段と、
　前記第１の契機検出手段により前記始動口への遊技球の入球が検出された後、当該遊技球の入球を検出する第２の契機検出手段と、
　第１の乱数カウンタの値を定期的に更新する第１の更新手段と、
　第２の乱数カウンタの値を定期的に更新する第２の更新手段と、
　前記第１の契機検出手段の検出結果に基づき、前記第１の乱数カウンタの値を読出す第１の読出手段と、
　前記第２の契機検出手段の検出結果に基づき、前記第２の乱数カウンタの値を読出す第

２の読出手段と、
前記第１の契機検出手段による第１の契機の検出タイミングと、前記第２の契機検出手段による第２の契機の検出タイミングとの間に時間差があるか否かを判定する時間差判定手段と、
前記第１の読出手段により読出された前記第１の乱数カウンタの値及び前記第２の読出手段により読出された前記第２の乱数カウンタの値のうち少なくとも一方が、予め定められた所定値の１つと一致するか否かを判定するカウンタ判定手段と、
前記時間差判定手段により、前記第１の契機検出手段による第１の契機の検出タイミングと、前記第２の契機検出手段による第２の契機の検出タイミングとの間に時間差があると判定された場合であって、かつ、前記カウンタ判定手段によって、前記第１の読出手段により読出された前記第１の乱数カウンタの値及び前記第２の読出手段により読出された前記第２の乱数カウンタの値のうち少なくとも一方が、予め定められた所定値の１つと一致すると判定された場合に、遊技者にとって有利となる特別遊技状態を発生させる旨の信号を出力する特別遊技状態発生制御手段とを備えることを特徴とする遊技機。
【請求項３】
遊技盤を流下する遊技球が入球可能な始動口と、
前記始動口への遊技球の入球を検出する第１の契機検出手段と、
前記第１の契機検出手段により前記始動口への遊技球の入球が検出された後、当該遊技球の入球を検出する第２の契機検出手段と、
第１の乱数カウンタの値を定期的に更新する第１の更新手段と、
第２の乱数カウンタの値を定期的に更新する第２の更新手段と、
前記第１の契機検出手段の検出結果に基づき、前記第１の乱数カウンタの値を読出す第１の読出手段と、
前記第２の契機検出手段の検出結果に基づき、前記第２の乱数カウンタの値を読出す第２の読出手段と、
前記第１の契機検出手段による第１の契機の検出タイミングと、前記第２の契機検出手段による第２の契機の検出タイミングとの間に時間差があるか否かを判定する時間差判定手段と、
前記第１の読出手段により読出された前記第１の乱数カウンタの値が、予め定められた所定値の１つと一致し、かつ、前記第２の読出手段により読出された前記第２の乱数カウンタの値が、予め定められた所定値の１つと一致するか否かを判定するカウンタ判定手段と、
前記時間差判定手段により、前記第１の契機検出手段による第１の契機の検出タイミングと、前記第２の契機検出手段による第２の契機の検出タイミングとの間に時間差があると判定された場合であって、かつ、前記カウンタ判定手段によって、前記第１の読出手段により読出された前記第１の乱数カウンタの値が、予め定められた所定値の１つと一致し、かつ、前記第２の読出手段により読出された前記第２の乱数カウンタの値が、予め定められた所定値の１つと一致すると判定された場合に、遊技者にとって有利となる特別遊技状態を発生させる旨の信号を出力する特別遊技状態発生制御手段とを備えることを特徴とする遊技機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
【課題を解決するための手段】
上記の目的を達成するため、請求項１に記載の遊技機においては、遊技盤を流下する遊技球が入球可能な始動口と、前記始動口への遊技球の入球を検出する第１の契機検出手段と、前記第１の契機検出手段により前記始動口への遊技球の入球が検出された後、当該遊

技球の入球を検出する第２の契機検出手段と、乱数カウンタの値を定期的に更新する更新手段と、前記第１及び第２の契機検出手段のうち少なくとも一方の検出結果に基づき、前記乱数カウンタの値を読出す読出手段と、前記第１の契機検出手段による第１の契機の検出タイミングと、前記第２の契機検出手段による第２の契機の検出タイミングとの間に時間差があるか否かを判定する時間差判定手段と、前記読出手段により読出された前記乱数カウンタの値が、予め定められた所定値の１つと一致するか否かを判定するカウンタ判定手段と、前記時間差判定手段により、前記第１の契機検出手段による第１の契機の検出タイミングと、前記第２の契機検出手段による第２の契機の検出タイミングとの間に時間差があると判定された場合であって、かつ、前記カウンタ判定手段によって、前記読出手段により読出された前記乱数カウンタの値が、予め定められた所定値の１つと一致すると判定された場合に、遊技者にとって有利となる特別遊技状態を発生させる旨の信号を出力する特別遊技状態発生制御手段とを備えることを特徴とする。

また、請求項２に記載の遊技機においては、遊技盤を流下する遊技球が入球可能な始動口と、前記始動口への遊技球の入球を検出する第１の契機検出手段と、前記第１の契機検出手段により前記始動口への遊技球の入球が検出された後、当該遊技球の入球を検出する第２の契機検出手段と、第１の乱数カウンタの値を定期的に更新する第１の更新手段と、

第２の乱数カウンタの値を定期的に更新する第２の更新手段と、前記第１の契機検出手段の検出結果に基づき、前記第１の乱数カウンタの値を読出す第１の読出手段と、前記第２の契機検出手段の検出結果に基づき、前記第２の乱数カウンタの値を読出す第２の読出手段と、前記第１の契機検出手段による第１の契機の検出タイミングと、前記第２の契機検出手段による第２の契機の検出タイミングとの間に時間差があるか否かを判定する時間差判定手段と、前記第１の読出手段により読出された前記第１の乱数カウンタの値及び前記第２の読出手段により読出された前記第２の乱数カウンタの値のうち少なくとも一方が、予め定められた所定値の１つと一致するか否かを判定するカウンタ判定手段と、前記時間差判定手段により、前記第１の契機検出手段による第１の契機の検出タイミングと、前記第２の契機検出手段による第２の契機の検出タイミングとの間に時間差があると判定された場合であって、かつ、前記カウンタ判定手段によって、前記第１の読出手段により読出された前記第１の乱数カウンタの値及び前記第２の読出手段により読出された前記第２の乱数カウンタの値のうち少なくとも一方が、予め定められた所定値の１つと一致すると判定された場合に、遊技者にとって有利となる特別遊技状態を発生させる旨の信号を出力する特別遊技状態発生制御手段とを備えることを特徴とする。

また、請求項３に記載の遊技機においては、遊技盤を流下する遊技球が入球可能な始動口と、前記始動口への遊技球の入球を検出する第１の契機検出手段と、前記第１の契機検出手段により前記始動口への遊技球の入球が検出された後、当該遊技球の入球を検出する第２の契機検出手段と、第１の乱数カウンタの値を定期的に更新する第１の更新手段と、

第２の乱数カウンタの値を定期的に更新する第２の更新手段と、前記第１の契機検出手段の検出結果に基づき、前記第１の乱数カウンタの値を読出す第１の読出手段と、前記第２の契機検出手段の検出結果に基づき、前記第２の乱数カウンタの値を読出す第２の読出手段と、前記第１の契機検出手段による第１の契機の検出タイミングと、前記第２の契機検出手段による第２の契機の検出タイミングとの間に時間差があるか否かを判定する時間差判定手段と、前記第１の読出手段により読出された前記第１の乱数カウンタの値が、予め定められた所定値の１つと一致し、かつ、前記第２の読出手段により読出された前記第２の乱数カウンタの値が、予め定められた所定値の１つと一致するか否かを判定するカウンタ判定手段と、前記時間差判定手段により、前記第１の契機検出手段による第１の契機の検出タイミングと、前記第２の契機検出手段による第２の契機の検出タイミングとの間に時間差があると判定された場合であって、かつ、前記カウンタ判定手段によって、前記第１の読出手段により読出された前記第１の乱数カウンタの値が、予め定められた所定値の１つと一致し、かつ、前記第２の読出手段により読出された前記第２の乱数カウンタの値が、予め定められた所定値の１つと一致すると判定された場合に、遊技者にとって有利となる特別遊技状態を発生させる旨の信号を出力する特別遊技状態発生制御手段とを備え

ることを特徴とする。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
（作用）
上記発明によれば、更新手段により、乱数カウンタの値が定期的に更新される。また、第１の契機検出手段では、１つの遊技媒体の挙動による第１の契機が検出され、第２の契機検出手段では、前記同一の遊技媒体の挙動による第２の契機が検出される。さらに、前記第１及び第２の契機検出手段のうち少なくとも一方の検出結果に基づき、乱数カウンタの値が読出手段によって読出される。そして、第１の契機検出手段による第１の契機の検出タイミングと、第２の契機検出手段による第２の契機の検出タイミングとの間に時間差があり、かつ、読出手段により読出された乱数カウンタの値が、予め定められた所定値の１つと一致する場合に、特別遊技状態発生制御手段により、遊技者にとって有利となる特別遊技状態が発生させられる。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１２】
ここで、不正行為を行おうとする者が、所定のタイミングを見計らって電波を発生させ、所定の契機を発生させようとしても、第１の契機の検出タイミングと、前記第２の契機検出手段による第２の契機の検出タイミングとの間に時間差を生じさせるようなことは非常に困難なものとなる。従って、特別遊技状態を不正に発生させようとしたとしても、特別遊技状態発生制御手段によって、特別遊技状態を発生させられることは非常に起こりにくい。